

運転



なぜこうになってしまうのか
アルツハイマー病や認知症
の人にみられる傾向

- 道路標識に従わない
- 運転速度が速すぎるまたは遅すぎる
- 同じ車の中にいる人、または他のドライバーに対して怒る
- 縁石にぶつかる
- 車線をまたぐ
- ブレーキとアクセルを間違える
- 行き先を忘れる
- 知っている場所に行くのに迷う

時間が経つにつれ、アルツハイマー病や認知症の人は運転することが難しくなってきます。いずれ運転をやめる必要がありますがこれはとてもつらいことです。本人および家族は自由を奪われたように感じるかもしれませんが、一番大切なのは安全でいることです。

あなたにできること

注意深く観察する

- 駐車違反や交通違反のチケットを切られていないか気を付ける
- 車に新しい傷跡、へこみなどがいないかを探す
- 他のドライバーや自分の車についての不満に耳を傾ける

運転をやめさせる手助けをする

- 医師からもう運転できないと言ってもらようようにする
- 医師に、認知症の診断をDMV (Department of Motor Vehicles) へ届け出てもらようようにする
- 親友、牧師、神父、ラビから、運転をやめるよう言ってもらう
- お店や予約をした場所まで別の人が乗せていってくれることを伝える
- 第三者に助けを求める…食事の宅配、処方薬の受け取りまたは自宅に訪ねて来てもらう

工夫を凝らす

- 鍵を隠す
- 車を見えないところに駐車
- 車のバッテリーやスターターワイヤーを取り外す
- 車は修理に出してあると伝える
- あなたが運転席に先に乗る
- 似ているが、エンジンをかけることができないような鍵一式を渡す
- 他の人の運転してもらうことが楽しそうだと思う

最後に

- 車を売る…ガソリン代、保険代、修理代を浮かすことができ、その分をタクシー、Uber、LYFTや他の人に送迎をお願いするために使うことができる



ヘルプライン
844.HELP.ALZ
alzgla.org